

2019年3月29日
株式会社アビタス

PRESS RELEASE



CIA 新試験対応教材リリース

～国際資格の専門校アビタス～
CIA（公認内部監査人）資格講座

内部監査に関する国際資格、CIA（公認内部監査人）の出題範囲改訂を2019年10月に控え、国際資格の専門校アビタス（本社東京都渋谷区、代表三輪豊明）は4月1日、新試験に対応した最新教材をリリースします。グローバル化とITの進歩を背景に、新試験は、国際的なリスクマネジメントやシステム監査についての出題が増えることが見込まれています。アビタスは、いち早く新教材をリリースすることで、受験者が時間をかけて試験対策できるようにするとともに、新教材が相次ぐ企業不正の防止につながるよう期待を込めています。

■2019年10月から新試験

CIA資格は、米国に本部を置くIIA（内部監査協会）が認定する国際資格です。企業にガバナンスの強化が求められる今、内部監査の品質を担保する専門人材としてCIA資格保有者に対するニーズがますます高まっています。

グローバル化とITの進歩を背景に、国際的実務に対応できる内部監査人を育成するため、IIAは、出題範囲を記した「シラバス」を改訂し、2019年10月に新試験として導入されます。

■ITに関する出題が約20%から約45%に

CIA試験は3科目に分かれています。新試験では特に、Part3「内部監査のためのビジネス知識」の内容が大きく変わる予告がなされており、情報セキュリティ・情報技術といったIT分野の出題が20～25%だったものが45%に変更となります。

<新試験のポイント>

- ・Part1「内部監査に不可欠な要素」

IIAの属性基準とより整合した内容になる。出題要素（ドメイン）の柱は「ガバナンス・リスクマネジメントおよびコントロール」。

- ・Part2「内部監査の実務」

IIAの実施基準とより整合した内容になる。サンプリングなど個々の業務の実施に関する出題が40%

- ・Part3「内部監査のためのビジネス知識」

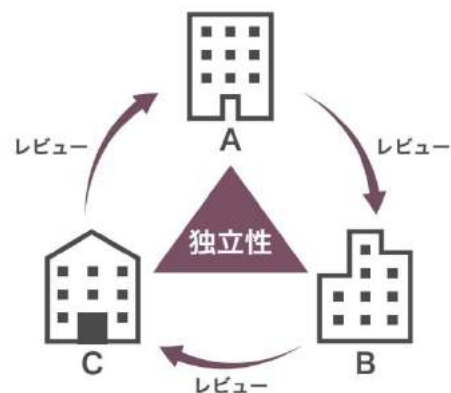
IT分野の出題が20~25%だったものが45%に拡大される。サイバーセキュリティのリスクなど追加トピックが登場する。

■最新のフレームワークに完全準拠

アビタスのCIAプログラムは2005年に開講し、これまでに2,467名の合格者を輩出しています（2019年2月時点）。今回の教材改訂は約3年半ぶりの大幅改訂です。世界の内部監査の専門家が指針とする最新フレームワークに完全準拠しており、視覚的な解説も大幅に充実させました。

コンテンツ一部抜粋

- 2-1. 内部監査部門の独立性と客観性
- 2-2. 内部監査部門の組織上の独立性
- 2-5. 独立性または客観性の侵害
- 2-7. コンサルティング業務における
独立性と客観性



新試験に対応した講義は2019年4月13日（土）はアビタス大阪校で、4月15日（月）にはアビタス八重洲校でスタートします。受講説明会を毎週各校で開催しています。予約は

<https://www.abitus.co.jp/cia/>

<お問い合わせ>

報道関係者の方

アビタス広報窓口

TEL : 03-3299-3223 (広報直通)

Mail : abitus@abitus.co.jp

【株式会社アビタス】

本社所在地：東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー15 階

代表者：代表取締役 三輪 豊明 (みわ・とよあき)

事業内容：教育事業 (米国公認会計士、公認内部監査人などの社会人向け国際資格プログラムを展開)

人材事業 (人材紹介；厚生労働大臣許可 13-ユ-302408

人材派遣；厚生労働大臣許可 (派) 13-302848)

設立：1995 年 7 月

資本金：7,000 万円

主な実績：米国公認会計士 (USCPA) 合格者約 3,500 人輩出、公認内部監査人 (CIA) 合格者約 2,400 人輩出など

事業所：本社 (新宿本校)、八重洲校、大阪校

<https://www.abitus.co.jp/>

TEL : 03-3299-3900 / FAX : 03-3299-3777